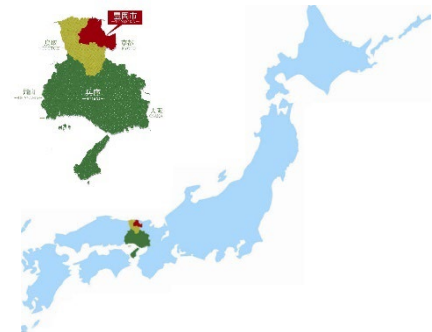


豊岡市出石(兵庫県)



▲辰鼓楼(時計台)H29修理

(1) 保存地区の概要

地区名	豊岡市出石
種別	城下町
面積	23.1ヘクタール

選定年月日 平成19年12月4日

特徴 豊岡市出石伝統的建造物群保存地区は、兵庫県北部に位置し、慶長9年(1604)頃、有子山の麓に平山城(出石城)が築かれたことを契機に整備され、以後、但馬地方における政治・経済の中心地として栄えた。出石城跡や城下町の街路、町人地における敷地の間口など、文化7年(1810)の出石城下町絵図の状況をよく維持し、但馬地方における城下町の歴史的風致を現在に伝えている。

明治9年(1876)の大火により町の大半を焼失したが、江戸時代の地割の上に切妻平入の伝統的な町家等が建築され、近代の城下町とでもいふべきまちなみが形成されている。

(2) 保存地区のあゆみ

昭和62年度(1987)	・「内町都市核形成計画」策定 ・兵庫県「都市景観形成地区」指定(城下町地区62ha) ・景観ガイドライン策定 ・第1回「兵庫・町並みゼミ」出石大会開催
昭和63年度(1988)	・「旧城下町再生計画」策定 ・「出石城下町を活かす会」発足(186名)
平成元年度(1989)	「出石町HOPE計画(地域住宅計画)」策定
平成3年度(1991)	「町家デザインマニュアル」策定
平成5年度(1993)	・出石町歴史的地区環境整備街路(歴みち)事業調査 ・街なみ環境整備事業(～平成19年度)
平成8年度(1996)	山名氏城跡(有子山・此隅山)国史跡指定
平成9年度(1997)	「文化財を活かしたモデル地域づくり推進計画」策定
平成10年度(1998)	出石町中心市街地活性化事業基本計画策定
平成12年度(2000)(～13年度)	伝統的建造物群保存地区保存対策調査
平成16年度(2004)	出石都市計画道路の見直しを決定
平成17年度(2005)	「保存条例」制定
平成19年度(2007)	・「出石伝建地区保存計画」策定 『重要伝統的建造物群保存地区』選定(12月)
平成20年度(2008)	伝建(修理・修景)事業開始
平成29年度(2017)	重伝建選定10周年記念シンポジウム開催
令和3年度(2021)	・「出石伝建地区防災計画」策定

(3)保存地区の
保存と整備

	H20～H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計	実数
修理	34	5	4	3	2	4	2	4	3	3	3	2	69	65
修景	2			2	1		2					1	8	8
計	36	5	4	5	3	4	4	4	3	3	3	3	77	73

< 修理前 >

※実数(73件)内訳:【建築物】修理63件、修景7件、【工作物】修理2件、修景1件



H28・29修理



H30 修景



R2・4 修理

<< 修理後 >>



豊岡市出石(兵庫県)

(4) 保存地区の活用とまちづくり

重伝建選定前から、地域で定着している**四季折々の伝統行事**◆官民及び個人・団体を問わず、出石城下町の賑わいづくりは、これからもまちぐるみで受け継がれていきます



▼そば喰い大会(4月)

▼さくらまつり(4月)

▼きものまつり(10月)



▲初午祭(3月)



▼秋祭りけんかだんじり(10月)



▲歌舞伎お練り(11月)

▼お城まつり(11月)▼



▼土曜夜店(7~8月)

▼盆踊り大会(8月)



豊岡市出石(兵庫県)

(5) 住民等の取組

設計士集団「出石まちなみ設計士会」

平成19年12月4日の重伝建選定後、平成20年度から保存修理事業に着手◆伝統的建造物等を次代に継承するため、兵庫県ヘリテージマネージャー資格を有する設計士の集団「出石まちなみ設計士会」を平成20年5月29日に設立◆歴史的建造物の調査設計・工事監理にあたり、歴史的景観の保存整備に関する調査研究等を、保存地区の枠にとらわれず精力的に行っている。(R3.4月現在、24名)

▶ ベンガラ研修



▶ 土壁研修



▶ 焼き板学習会



▶ でんけん講演会



▶ 修理現場見学会



出石伝統的町家外観デザイン集



伝統的建造物の平面・立面・断面図に加え、伝統的意匠の構成要素である、格子・建具・飾り窓・持送り等を実測し、部位別詳細図を多数掲載◆より高いレベルでの町並み保存に役立てるため、出石伝建地区独自の意匠・デザイン集を作成◆発刊時には記念フォーラムを行い、町家保全の普及啓発のため、基調講演やパネルディスカッションを開催

▶ 現地指導



▶ 視察研修

